

## 新最終処分場施工管理ワーキンググループ設置要項

### (目的)

第1条 新最終処分場の建設工事における施工方法及び施工管理方法について検討するために、新最終処分場施工管理ワーキンググループ（以下、「ワーキンググループ」という。）を設置する。

### (組織)

第2条 このワーキンググループは新最終処分場建設工事中の環境モニタリングに係る有識者会議の内に置き、委員は別表のとおりとする。

- 2 ワーキンググループには、座長を置く。
- 3 座長は、委員の互選により選任する。
- 4 座長はワーキンググループを代表し、ワーキンググループを統括する。

### (任務)

第3条 ワーキンググループは新最終処分場の建設工事における施設の施工方法及び施工管理方法に関する次のことについて検討する。

- (1) 最終処分場の底部盛土の施工管理に関すること
- (2) 最終処分場の遮水工の施工管理に関すること
- (3) 最終処分場の貯留堰堤の施工管理に関すること
- (4) 浸出水処理施設の性能試験に関すること
- (5) その他施設の施工管理に関し必要なこと

### (会議)

第4条 ワーキンググループの会議は、座長が招集する。

- 2 座長は、会議の議長となる。
- 3 座長は、特に必要があると認めるときには、一部の委員による会議を開催することができる。
- 4 座長は、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を述べさせることができる。

### (庶務)

第5条 ワーキンググループの庶務は、一般財団法人茨城県環境保全事業団において処理する。

### (委任)

第6条 この要項に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に必要な事項は、座長が別に定める。

### 附則

この要項は、令和6年7月12日から施行する。

(別表)

新最終処分場施工管理ワーキンググループ 委員

区分	委員名	所属	分野
学識経験 (4名)	大迫 政浩	国立研究開発法人国立環境研究所 フェロー	資源循環・廃棄物
	小林 薫	茨城大学大学院 理工学研究科 都市システム工学領域 教授	水文学・水環境学
	小峯 秀雄	早稲田大学理工学術院創造理工学 部 社会環境工学科 教授	土木工学・地盤工学
	宮脇 健太郎	明星大学理工学部 総合理工学科 教授	廃棄物工学
行政 (1名)	廣瀬 史明	茨城県県民生活環境部 資源循環推進課 課長	
事業者 (1名)	菊池 睦弥	(一財)茨城県環境保全事業団 常務理事	